

# 第15回日本デュアスロン選手権（2015/福島）

出場選手の皆さんへ（2015/10/30 現在）

本大会は（公社）日本トライアスロン連合（JTU）競技規則と2015あづまデュアスロン in 福島ローカルルールを適用して開催します。選手の皆様には、ルールを順守した上で、自己のパフォーマンスを最大限に発揮し、競技していただきたいと思っております。

<注意事項・主要JTU競技規則とローカルルール>

## [1] 選手受付・競技説明会

- ① エリート・U23選手：11月7日（土） 会場：あづま総合体育館2階会議室  
受付：14:30～14:50  
競技説明会：15:00～15:30
- ② U15・U19選手：11月7日（土） 会場：あづま総合体育館2階会議室  
受付：15:40～16:00  
競技説明会：16:10～16:40
- ③ エイジ・ビギナー・キッズ選手：11月8日（日） 会場：開会式会場  
受付：7:00～8:00  
開会式・競技説明会：8:10～8:40

\*エリート・U23選手については、ユニホーム規定に従い、ユニホームチェックを行いますので受付時に持参してください。

\*U15・U19選手については、ユニフォームは前面ジッパーを禁止する。前面（胸部）、後面（腰部）に名前プリントを推奨します。

\*ユニフォームについて

- ・JTU競技規則第33条、第35条、第36条、第61条、一部ITU競技規則準用)

[http://www.jtu.or.jp/register/pdf/15uniform\\_elite-b.pdf](http://www.jtu.or.jp/register/pdf/15uniform_elite-b.pdf)

- ・ITUユニフォームルールに準じる

[http://www.triathlon.org/uploads/docs/ELITE\\_UNDER23\\_JUNIOR\\_AND\\_YOUTH\\_UNIFORM\\_RULES.pdf2](http://www.triathlon.org/uploads/docs/ELITE_UNDER23_JUNIOR_AND_YOUTH_UNIFORM_RULES.pdf2)

- ・前面・後面にネーム（苗字）を表記すること（2014年から義務化）

\*欠席・遅刻・不参加は次により事前連絡が必要です。（JTU競技規則第30条）

- ・事前連絡期日：6日（金）午後6時迄：

JTU事務局（Eメール [jtuoffice01@jtu.or.jp](mailto:jtuoffice01@jtu.or.jp) 又は Fax03-5469-5403）に連絡の事。

- ・大会前日当日：7日（土）、8日（日）

技術代表：蓮沼 090-2957-2153

審判長：伊藤 090-8746-4401

連絡を行った上での欠席・遅刻であっても、スタートコールを最後尾といたします（スイムスタート位置取りが最後となります）。また無断欠席した選手は出場することができません（ITU競技規則準用）。

[2] バイク・ヘルメットチェック \*選手権出場者のみ

8日(日): トランジション入口にて実施します。

エリートトランジションオープンは、9:30~10:30

チェックを受ける際、ヘルメットを着用した状態でバイクを持ち込んで下さい。

チェックを受けてから、トランジションへのセッティングを行ってください。

\*エイジ・ビギナー・キッズのトランジションオープンは、7:00~8:00

[3] バイク(JTU競技規則第100条、第79条、第43条、一部ITU競技規則準用) \*選手権出場者のみ

1) エアロバー先端は、前輪ハブ軸より15cm以上前に出ていないこと。さらに、左右のブレーキレバーの最前部を結ぶ直線より前に出ていないこと、硬質なもので連結すること。

ビニールテープ等による先端の連結は許可されません。バイクチェック時に外していただきます。

2) ホイールはスポークが16本以上のものとし、ディスクホイール、バトンホイールの類は禁止です。

3) 以上に適合しないバイクでは出場できません。

[4] ヘルメット(JTU競技規則第85条 競技規則準用)

バイク競技では、常にバイク競技用の硬質ヘルメットを、その取扱説明書に従い、正しく着用していなければなりません。

1) 着用するバイク競技用硬質ヘルメットは、次に掲げる基準に適合したものを奨励します。

(1) Snell Memorial Foundation スネル記念財団

(2) American National Standard Institute (ANSI Z90.4) 米国規格協会

(3) U.S. Consumer Product Safety Commission (16CFR Part 1203) 米国消費者製品安全委員会

(4) CEN European Standard (EN1078) CEN 欧州標準

(5) The National Swedish Board of Consumer Policy スウェーデン消費者機構

(6) 財団法人日本自転車競技連盟(JCF)

2) ひび割れ、表面の不良及びストラップの不良などがあるヘルメットの使用は禁止します。

規定のヘルメットを被って全体的に(偏りなく)少し圧迫感があるくらいのもので、ストラップは、締めた状態で指が横に二本くらい入るきつさで。頭を前後左右に強く振って、ずれない程度に調整してください。

[5] ホイールストップ

オフィシャルホイールストップは設置していません。

各自準備したホイールは、ランスタート付近の指定された(WS)にレースが始まる前までに置いてください。その際に、レースNO・選手名(チーム名でも可但し、使用予定のレースNOは明記する)を明記し持参してください。競技終了後、速やかにピックアップをお願いします。

[6] バイク乗降車方法(ITU競技規則準用)

乗車の際、選手の足が乗車ラインを越えて完全に片足の裏全体が地面についていること。

降車の際、選手の足が降車ライン手前で完全に片足の裏全体が地面についていること。

[7] ペナルティ(ITU競技規則準用)

ランの周回、フィニッシュの分岐地点にペナルティボックスを設置します。

違反を行った選手のレースナンバーはペナルティボックス入り口に掲示されます。

ラン競技中に選手自ら確認して入る。入らなかった場合は失格(DQ)。

- 1) 不正スタート（フォールス・スタート）は T1 で15秒停止
- 2) 乗降車ラインの違反はペナルティボックスで15秒停止
- 3) 使用した競技用具を指定されたカゴに入れなかった場合はペナルティボックスで15秒停止
- 4) バイク、ランでコースを離脱し正しく復帰しなかった場合はペナルティボックスで15秒停止

#### [7] 周回遅れ対応 \*選手権の部

バイク競技での周回遅れは競技停止（DNF）となります。U23選手がエリート選手にラップされた場合でもDNFとなります。

※周回遅れとなった選手は、安全に十分注意し、減速停止し、速やかに歩道に上がり歩道を通り徒歩にて会場まで戻って下さい。

※周回遅れ等による男子選手と女子選手のドラフティング走行は禁止です。

#### [8] コース等の把握

競技者は、コース及び競技環境を事前に把握し、かつ、自らの責務でコースを確認し、競技を行うものとします。（JTU競技規則第23条）

※周回の指示、誘導は行いません。先頭に対しては、ラップボードで周回を知らせます。

※公式バイク試走は有りません。スタート前に試走時間を設ける事が出来ませんので、個々でコースの確認をお願い致します。

#### [9] 応援活動（JTU競技規則第20条）

クラブ旗など応援用の旗・のぼり・ボードは、選手、観戦者のじゃまにならないよう関係者へ注意喚起をお願いします。また、大会広告バナーを隠さないよう配慮してください。大会設営物への貼り付け物は遠慮下さい。企業クラブの場合、事前にJTU事務局まで確認が必要となります。

#### [10] 各種情報

- 1) JTU 競技規則 [http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu\\_competition\\_rules\\_2006.pdf](http://www.jtu.or.jp/marshal/pdf/jtu_competition_rules_2006.pdf)
- 2) 第15回日本デュアスロン選手権 HP <http://www.jtu.or.jp/duathlon/2015/index.html>

#### [11] その他

##### 1) 宿泊情報

大会期間中は、近隣で多数イベントが開催され、宿泊施設が少なくなっております。

あづま総合運動公園近くの温泉街については、下記のHPを参考にしてください。

<http://www.f-onsen.com/>